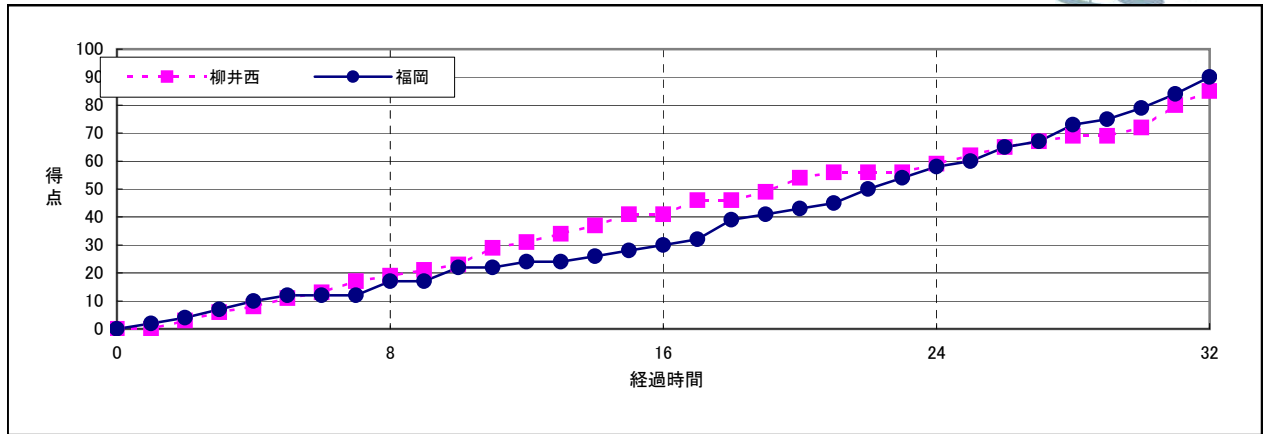


試合区分	2日目 男子 HAコート第6試合 決勝トーナメント2回戦		
日時	8月24日(日) 16:10 ~		
会場	東総合スポーツセンター		
結果	柳井西	85	福岡
	山口		福岡
			19 1st 17 22 2nd 13 18 3rd 28 26 4th 32 OT
審判	主審 坂上 佳弘	副審 岡崎 武史	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

柳井西							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	高岡 竜也	×	29	6	3	5	3
5	原田 大輔	×	5	1	1	0	2
6	中野 智樹	×	31	7	4	2	3
7	島尾 聡太	×	2	0	1	0	5
8	荒木 亮太	×	8	0	4	0	4
9	森田 潤三						
10	金子 光	/	10	2	2	0	1
11	森本 悠哉	/	0	0	0	0	4
12	松下 知隼						
13	中村 佑輔						
14	清重 貴洋						
15	廣木 悠人						
16	安井 蓮						
17	東 森 亘						
18							
監	松島 幸夫						
C	坪井 俊乗						
合計			85	16	15	7	22

福岡							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	津川 謙史朗	×	8	1	2	1	1
5	川口 颯	×	5	1	0	2	4
6	山口 拓也	×	27	2	8	5	1
7	吉丸 修太	×	25	0	10	5	1
8	山本 純平	×	25	0	12	1	2
9	坂本 龍之介						
10	塚本 尚司						
11	田崎 拳哉						
12	柳井 秋人						
13	木下 俊輔						
14	末松 耕平						
15	馬渡 健吾						
16	増野 大輔						
17	坪内 慎吾						
18	高橋 一希						
監	下川 智紀						
C	蛭川 秀樹						
合計			90	4	32	14	9

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー

ベスト4進出をかけた柳井西と福岡の対戦。スピードある展開を身上とする柳井西、高さを誇る福岡の見ごたえのある一戦である。両者ともにマンツーマンでスタートする。柳井西#6、#4と立て続けに3P2本を決める。その後すぐに福岡の#7のドライブシュート。#5の3Pで追い上げる。この速い展開をきっかけに両チームともOffの速い展開からアウトシュートの入れ合いになる。特に、柳井西の#4のドライブ、さらにはボールコントロールをしながら組み立てる1ON1の攻防により19-17で柳井西がリードする。

第2Q、福岡#6の3P、#4のシュートで逆転を狙うが柳井西#6の目の覚めるような3P3本連続ゴールにより流れが柳井西に傾く。その後も柳井西#4のドリブルワークに翻弄されDefが突破される。柳井西の#5の3P、さらにはインサイドも機能し始め、前半41-30で柳井西がリードで終了。

後半、柳井西のスピードを封じるため、福岡は2-3ゾーンをするが、柳井西#6が3P連続3本決め、柳井西は1-3-10ffで冷静にゾーンの攻略に入り、柳井西#4、#6が3Pを決める。一方、福岡は#7のドライブ、#8のインサイド、#6の3Pなどの多彩な攻撃で着実に流れをつかみ、58-58の同点で3Qを終了する。

第4Qに入り、福岡は、柳井西の#4、#6に対し厳しくマークする。さらにDefリバウンドから速い展開で着実に加点。残り2分17秒で柳井西のチームファウルが5つとなる。福岡はそのフリースロー2投を確実に決め72-79。その後、福岡のインサイド#8のゴール下シュートで残り1分52秒で72-81とする。対して、柳井西#6が1分42秒に3Pを決めるが、柳井西のチームファウルによるフリースローによって福岡は着実に2投を決める。すぐに柳井西#6が3Pを決め、残り1分10秒で78-83となり福岡はタイムアウト。柳井西のエンドスローインから始まり、#4がドライブを決め80-83となるが、直後、ファウルにより福岡の2投があり、1投目を決め、2投目は福岡#8のリバウンドシュートで80-86となる。柳井西がリバウンドから#10の速攻が決まり得点は82-86。残り20秒6、柳井西#4が3Pシュートでファウルをもらい、フリースロー3投決め、85-86の1点差。残り20秒間にチームファウルによってフリースローを4投決め、85-90で福岡が逆転で準決勝に進出を決めた。両チームともに個人能力が高く攻撃力のあるチームであった。福岡の高さに対して、柳井西はスピードと正確なシュート、そして徹底したボックスアウトとルーズボールへの執念が光る素晴らしいチームであった。